

平成20年度 非核・平和に関する自治体施策のアンケートまとめ

自治体名	担当部署 回答者	1 今年度の重点施策は何でしたか。	2 非核・平和施策に関する予算はいくらでしたか。	3 どのような被爆者援護施策を実施されましたか	4 子どもたちへの平和教育施策をどのように実施されましたか。	5 その他
1	綾部市 企画部 企画広報課 上原	①世界連邦宣言第1号都市として、市民団体との協働で啓発活動を行う。②世界連邦宣言自治体全国協議会会長市としての責務を果たす。	①綾部世界連邦運動協会への団体事業補助金8万円。②地球市民の集い実行委員会への団体事業補助金70万円。③世界連邦推進事業基金への積立金15万4千円。④団体会費1万2千円。	京都府原爆被災者の会綾部支部に団体事業補助金を交付。	①世界連邦推進綾部市小・中学生ポスター・作文コンクール(6~10月) ②綾部市民平和祈願の集い開催(8月15日) ③地球市民の集い(10月13日) ※①~③は市も構成団体となっている実行委員会が実施 ④綾部世界連邦運動協会が中学校からの希望に応じて平和教育授業を実施。 ※同協会事務局は市に設置	
2	井手町 総務部 総務課 寺井				次世代を担う子供たちに、平和の大切さや、戦争、原爆の悲惨さを体験することが真の平和学習につながると位置づけ、平成3年から小学生の修学旅行を広島方面で実施し、広島平和記念資料館での体験学習を行っている。	本町では、昭和63年3月議会において非核平和都市宣言が議決されて以来、今日まで役場庁舎をはじめ、公共施設などに啓発塔を設置し、「非核平和都市宣言の町」として、住民啓発を行ってきた。また、核保有国による核実験の強行に対しては、町長名、議長名をもって抗議し、今後一切の核実験を中止するよう強く要請を行っている。
3	伊根町 総務課				・特別な施策は実施していません。・各小・中学校で発達段階に合わせた教育課程の中でふるさとの素晴らしさを体験を通して学習する取組み、道徳教育の中で豊かな心の育成、各教科の中で適切な学習内容による指導がなされている。	非核・平和施策に関する要望書を平成20年6月17日に受理。提出者：2008年原水爆禁止国民平和実行委員会代表・岩橋祐祐氏。平成20年6月17日開催の第2回伊根町議会で報告(要望書配布)。非核平和都市宣言に関する決議：平成元年9月27日 伊根町議会
4	宇治市 総務部 総務課 亀井	「核兵器廃絶平和都市宣言」の理念のもと、二度と戦争を繰り返さない決意をもって、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を願った各種事業を実施。(事業内容は次頁)	宇治市平和都市推進協議会への補助金3,600,000円	京都府原爆被災者の会宇治支部に対し、団体運営費に対する補助金を支出している。(担当部署：健康福祉部地域福祉室地域福祉課)	小・中学生平和訪問団事業として、今年度は長崎を訪問。被爆体験講話の聴講、長崎原爆資料館の見学、ボランティアガイドの案内による平和公園や浦上天主堂等、市内原爆遺跡めぐりなど。団員の感想文を文集として発行予定。市内小・中学校に平和教育に活用してもらうよう配布する。	本市の平和事業はすべて宇治市平和都市推進協議会(宇治市を含む16団体で構成)が実施している。
5	宇治田原町 総務課 植村	本町非核・平和都市宣言に基づき、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を願った施策を展開。一昨年、町制施行50周年を迎え、テーマである「平和・感謝・希望」を具現化した「平和の鐘」を制作。平和に対する地域の思いを次世代へ繋げていくためにも「平和の鐘」を活用した事業を実施。	本町非核平和都市推進協議会への助成等。	被爆者や被爆地の実相を知り、平和の大切さや命の重さ・尊さを学ぶことが、被爆者援護の第一歩であると考え、被爆地である広島市や長崎市に児童・生徒を派遣。現地の学習で学んだことや感じたこと、また考えたことを発表会や広報紙面を通じて、地域住民に広く伝える等の事業を展開。	児童・生徒を広島市に派遣する「広島平和体験学習」や、中学生4名を特使として長崎市へ派遣する「平和友好特使派遣事業」を実施。長崎市内では、現地中学校での平和集会に参加し、平和をとおした世代間交流を行うなど幅広い平和学習を展開。また、学習の成果を広報紙に掲載するとともに、世代を超えて平和について考える場である「平和のつどい」を開催し、全住民を対象に感想文を発表している。	諸外国が実施する臨界前核実験に対して、その都度、厳重な抗議を行う。
6	大山崎町 総務部 政策推進室 秋田	町民に平和の尊さの理解を深めてもらうために、原爆の子の像に奉納する「平和の折鶴」を募集した。また、原爆の子の像に「平和の折鶴」を奉納し、広島平和記念式典に参加する町民を公募し、職員2名とともに派遣した。その他にも、平和パネル展を実施し、啓発活動に努めた。	予算：164,000円	原爆被災者の会に補助金を交付(予算35,000円)。	町内にある小中学校・幼稚園・保育所の子どもたちに原爆の子の像に奉納する折鶴を折ってもらい、平和について考える機会を設けている。	
7	笠置町 総務企画課 前田	特になし	0円	なし	小学校での平和ポスターへの出品	なし
8	亀岡市 企画管理部 秘書課 中野	世界連邦平和宣言都市として、平和月間として位置づけている8月を中心に、各種の平和事業を実施(下記のとおり) ①「ヒロシマ」に学ぶ親子平和の旅：原爆被災地である広島を親子で訪れ、平和の大切さや尊さを肌で感じ、学ぶために実施した。平成20年度はH20.7.20~21に実施し、市内小学生親子15組30名が参加した。 ②「平和のコスモス園事業」：亀岡市の平和の歌「うつくしもの」の歌詞に登場する「コスモス」にちなみ、この歌がきっかけで本市中学校と平和交流が始まった岡山県内の中学校から、同校で採種されたコスモスの種が「平和友好のシンボル」として本市の中学校に贈られた。同校では、このコスモスの種を市内の観光コスモス園(JR亀岡駅北側、亀岡運動公園近郊の2カ所)の一角に、共に願う平和への想いを込めて蒔き、花を咲かせた。本市もコスモス栽培場所の交渉や、積極的な広報活動など、本事業に全面的に協力した。 ③「平和の思いを託す折鶴製作」：市立図書館利用者や市内小中学校の生徒、また市内デイサービスセンター利用者や市民の方が製作した折鶴(総数約36,000羽)を「ヒロシマ」に学ぶ親子平和の旅参加者と市内の中学校と平和交流を行っている岡山県内の中学校生徒の手で、広島平和記念公園に捧げたり、平和祈念式典などの会場で展示した。 ④岡山市での「うつくしもの」コンサート：「うつくしもの」作曲家であるシンガーソングライター奥井亜紀氏が本市の中学校と平和交流を行っている岡山市立富山(とみやま)中学校を訪れ、全校生徒の前で「うつくしもの」を披露し、平和への想いを生徒たちの心に届けた。 ⑤JR岡山駅前での「うつくしもの」ミニライブ：上記の「うつくしもの」コンサートで奥井亜紀氏が岡山市を訪れた際、JR岡山駅前でも「うつくしもの」ミニライブを行い、沿道の人々にも歌に込められた平和への想いを発信した。 ⑥「平和への道しるべ」発刊：亀岡市遺族会が戦争の悲惨さや平和への想いを後世に残し伝えるため、戦争体験談等を綴った、次世代へのメッセージ集「平和への道しるべ」を発刊した。	平和推進事業経費として、1,185千円	被災者の会に対して活動補助金23千円 被災者の会定期総会への祝辞(毎年)	・「ヒロシマ」に学ぶ親子平和の旅 ・平和への想いを託す折鶴製作 ・平和のコスモス園事業 ・戦争・原爆に関する図書展示・貸出(図書館にて実施) ・「平和・人権ビデオ鑑賞会」(戦争・原爆をテーマとしたアニメ映画上映会を市内各地で実施) ・ロビー展「戦争・平和展」(亀岡市文化資料館にて戦争に関する資料や遺品等を展示) ・ヒューマンフェスタ2008(平和に関するパネル展示等を実施)	
9	木津川市 市長公室 人事秘書課 樋口	平和都市宣言の啓発塔の設置	非核・平和施策に関する予算取りはしておりません。	特に実施していない	市内図書館に平和関連の図書の展示。学校教育の中での平和学習。	特にありません。
10	京田辺市 総務部 総務室 柴田	京田辺市平和都市推進協議会として、平和のつどい等を実施。 ◆平和のつどいの主な内容(実施日：平成20年8月8日) ○平和祈念黙とう ○平和メッセージ披露 ○平和書道展入賞者表彰 ○戦跡写真展及び講演 ◆その他 8月6日、9日、15日の正午に黙とう	平成20年度の京田辺市平和都市推進協議会への補助金は800千円	実施していません	・平和映画会として子ども向きにアニメ映画を上映 ・市内小・中学校の児童・生徒から「平和」をテーマにした書道作品を募集し、平和展で展示	本市は京田辺市平和都市推進協議会の構成団体として事業を実施しています。
11	京丹後市 企画政策部 企画推進課 井上	広報誌に広島及び長崎に原子爆弾が投下された時刻、終戦記念日を掲載し、世界の恒久平和の啓発活動を行った。	戦没者追悼式他1,637,000円	京都府原爆被災者の会丹後支部の活動に対して補助金(予算16,000円)を交付しました。	平和に関する教育は、各学校で教育計画に基づき、「社会科」・「道徳教育」・「総合的な学習の時間」や「人権教育」などの中で行っております。	
12	京丹波町 総務課 田中	本庁及び支所に懸垂幕を設置(7~8月)	懸垂幕作成費：120千円	独自施策は特に実施していません。	昨年度と同様に小学校(6年生)及び中学生は社会科の授業において戦争や平和について学習しております。	8月15日の取り組みとして、半旗掲揚及び正午から1分間の黙とうを実施。
13	京都市 総合企画局 政策推進室 佐々木	●京都市平和祈念事業：市民の皆様が改めて平和の尊さを認識していただくとともに、異文化理解、多文化共生社会の促進を通じて世界平和の実現に寄与することを目的として、(財)京都市国際交流協会との共同により、「京都市平和祈念事業」を開催(11月3日 於：京都市国際交流会館)。映画上映や、「平和を築くことばの力、文化の力」をテーマとして、山根基世氏(元NHKアナウンス室長)とサニー・フランシス氏(映画出演者)との対談を実施。 ●人権月間記念事業「被爆ピアノコンサート」：北区において、人権月間記念事業として「被爆ピアノコンサート」を開催(12月12日 於：京都市北文化会館)。人間と同様に広島で被爆したピアノによるコンサート、広島の平和朗読劇〜わたしはピアノ〜を通じて、戦争が人々にもたらす悲しみについて改めて認識し、平和への気持ちを新たにするとともに、世界に向けて平和と人権尊重のメッセージを発信。	本市は、平和を都市の理念として位置づけ、市政の様々な分野において、平和に関する取組を行っているところであり、非核・平和施策に関する予算としての積算は行っていない。	被爆者に対する本市独自の援護施策として、市営交通の減免、市民税の減免、国民健康保険料の減免、市営住宅の優先入居等を行っている。	●平和関連図書コーナーの設置 京都市図書館全館において、8月に平和関連図書のコーナーを設置し、図書の展示及び貸出しを実施した。 ●子ども向け「平和文庫」の設置支援 民間ボランティアグループの京都家庭文庫地域文庫連絡会が、平和関連の図書を700冊選書し、「京連平和文庫」として学校や団体単位に無料で貸し出しを行っている(個人も閲覧は可)。同文庫は、本市施設である「ひとまち交流館 京都」内の福祉ボランティアセンターに設置されている。 ●学校における平和教育の取組 学習指導要領を踏まえ、社会科、道徳等を通じて、国際社会に生きる民主的、平和的国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養うための教育活動を行った。	北朝鮮のミサイル発射や地下核実験はもとより、アメリカの臨界前核実験に対しても、その都度、核実験を中止するよう要請を行っている。

自治体名	担当部署 回答者	1	2	3	4	5
		今年度の重点施策は何でしたか。	非核・平和施策に関する予算はいくらでしたか。	どのような被爆者援護施策を実施されましたか	子どもたちへの平和教育施策をどのように実施されましたか。	その他
14	京都府 総務部総務調整課				京都府といたしましては、いかなる国のいかなる核兵器にも反対し、すべての国の核兵器を廃絶して、世界の恒久平和が確立されることを強く願うものであり、核兵器禁止、完全軍縮をうたった「世界連邦平和宣言」が昭和35年3月7日に京都府議会で決議されており、この決議が府民全体の非核・平和の意思を宣言したものであると考えております。 これまでも、世界各国の核実験や臨界前核実験に対しては、その都度、厳重な抗議を行ってきたところで、特に、一昨年10月に実施された北朝鮮の核実験につきましては、日本と環日本海諸国が平和と安全を希求していく上で、極めて遺憾な行為であり、厳重に抗議する旨の声明を発表いたしました。 原爆被爆者の援護につきましては、法に基づき健康診断の実施や各種手当てを支給するとともに、府独自措置として、特別健康診断の実施や年末見舞金を支給しています。また、府営住宅の優先入居や府税(個人事業税)の減免制度も実施しています。	
15	久御山町 総務部 総務課 松本	8月15日 平和祈念集会を開催。(参加者約110名)	総額 800,000円	特記事項なし	町内小・中学生の広島平和学習派遣事業(7月23日～24日 広島市)32名参加(小学生28名、中学生4名)。	特記事項なし
16	城陽市 市長公室 秘書課 森	「平和のつどい」では原爆写真パネル展示やビデオ放映を行いました。平和事業のPRを強化しました。	952千円	「京都府原爆被災者の会 城陽支部」に対し補助金を交付しました。	【平和のつどい】 戦争の恐ろしさ、平和の尊さ等、平和の大切さを市民に呼びかけるべく、文化パルク城陽において平和の集い(平和啓発のパネル展示・ビデオ放映・折鶴コーナー)を実施しました。今年は市内から集まった5万羽の折鶴を展示しました。 【平和のための小・中学生広島派遣団】 小中学生を対象として、原爆の恐ろしさや平和の尊さについての平和学習をするため、広島方面に派遣し、被爆体験者講話の受講、平和記念資料館、平和祈念館、原爆ドーム等を見学しました。そして、「平和のつどい」で集まった折鶴と、派遣団が持ち寄った折鶴を「原爆の子の像」に捧げました。また、小中学生広島派遣団の感想文を文集にし市内各小中学校、城陽市図書館、コミュニティセンター図書館に設置しました。 【永遠の希い】 戦争体験記「永遠の希い」を市内中学生の卒業時に各生徒に配布するとともに、同記を発刊以来図書館、教育施設などにも配置し、戦争に悲惨さ、愚かさ、生命の大切さについての啓発をしています。	広島・長崎原爆投下・終戦記念日に、原爆死没者及び戦没者並びに平和祈念の黙とうの周知と実施を行いました。 ※平和に関する予算については、「永遠の希い」印刷を2年毎に一括印刷しているため、予算額が毎年変動します。(H20年度印刷なし・次回H21年度印刷予定)
17	精華町 総務部企画調整課 清田	「精華町平和祭典2008」を8月10日(日)、精華町交流ホールにおいて開催。(アニメ映画の上映、平和啓発絵本の読み聞かせ、啓発パネルの展示)	精華町平和祭典実施団体、精華町平和祭典実行委員会に対する町負担金100,000円	特になし	◎夏休み期間中に開催した精華町平和祭典において、アニメ映画の上映、絵本の読み聞かせを実施した。◎学校ごとに異なるが、各教育現場において平和教育が実施された。	
18	長岡京市 企画部 政策推進課	「平和を考える市民フォーラム'08」の開催。講演、映画、絵本読み聞かせ、パネル展示等	1,293千円	原爆被災者団体への補助金支出等	●「平和を考える市民フォーラム'08」で小学生による平和学習の発表。●戦時中食「すいとん」の調理体験	●平和祈念碑シンボルマーク制定。●長岡京市の平和祈念碑へ献納する折鶴の募集
19	南丹市 総務課 大澤	特に掲げておりません。	特に計上しておりません。	特に実施しておりません。	学校教育の場で、戦時中の体験談を子ども達に聞かせたり校外学習で平和の尊さを訴える施設を見学するなど、現場ごとに取り組みを行っています。	
20	福知山市 市民人権推進室 横田	恒久平和都市宣言に基づく核兵器廃絶及び世界恒久平和をめざす施策の展開	1,786,000円	●住民票等手数料の免除(制度利用の際のみ) ●被災者の会の活動に対する補助金	人材育成事業として、下記平和事業を実施。 ●広島平和行動(小中学生対象) ●長崎平和学習の旅(高校生対象) ●人権文化体験研修(研修先:沖縄 高校生対象)	・各国の核関連実験及び核兵器の使用に対し、実施国の大使館などに向け抗議の意を表明(今年度は0件)。 ・日本非核宣言自治体全国協議会及び世界連邦宣言自治体全国協議会に加盟。
21	舞鶴市 企画管理部 企画政策室 企画調整課 河北	引揚最終船入港50周年、引揚記念館20周年 記念行事	引揚記念館運営費、記念事業費等約30,815千円	原爆被災者見舞金の支給	周年事業への参加呼びかけ	
22	南山城村 総務課 土井	特になし	0円	実施していない	授業の一環で平和をテーマに発表会を実施。	
23	宮津市 総務室秘書広報係 横谷	近年は広報誌に平和に関する記事を掲載しています。今年は宮津空襲について掲載。	予算措置なし	なし	特別な施策は実施していませんが、それぞれの学校(学校教育)において平和について学習します。	
24	向日市 市民生活部市民参画課 田口	●「向日市民平和と人権のつどい」の開催。 ●広島市平和祈念式典への市民代表の派遣及び平和の折鶴の奉納	798千円	向日市原爆被災者の会の活動に対し、補助金を支出	●市内小学校4年生児童を対象に、平和を題材とした書道作品の募集を行い、入賞作品の表彰ならびに展示を行った。 ●市内の公立保育所園児に折ってもらった折鶴を市民の代表者により、広島平和記念公園の「原爆の子の像」に奉納した。	●向日市文化資料館において、毎年8月に「くらしの中の戦争展」を開催。 ●平和啓発ビデオの貸出。
25	八幡市 市民人権啓発課 家村	本市の平和推進事業は、市の補助団体である「八幡市非核平和都市推進協議会(略称=ピース八幡)」とともに、平和に関する諸事業を実施しております。①平和の折鶴事業:市民募集(7月の1カ月間)した「平和の折鶴」を1カ月間市役所ロビーで展示。②平和大使報告会(8/23):広島平和祈念式典に派遣された市内中学生8名が感じた「ヒロシマ」を報告。③広報「やわた」による平和啓発。	800千円	該当事業なし	①平和大使派遣事業:市内中学生8名による広島平和記念式典への参加(8/5・8/6)。市民募集した「平和の折鶴」を原爆の子の像に奉納などの平和研修を実施。②平和大使が広島平和記念式典参加時に撮影した写真パネルの市内小・中学校等への貸出。③平和大使報告会を実施。	
26	与謝野町 総務課 松本	特になし	なし	特になし	学校教育の中での平和学習。	特になし
27	和束町 総務課 竹谷	特にありません	なし	実施していません	学校教育の中で平和等について学習しています。	特にありません

※ 宇治市平和都市推進協議会 平成20年度事業(実施済み分のみ)

- 小・中学生長崎訪問団派遣(7/29・30)
- 市民平和の集い「心に刻む平和の想い・平和の音色」(8/9)
・ハーモニコンサート ・映画「夕凧の街・桜の国」上映 ・原爆写真ポスターの展示
- 平和図書展 市立の3図書館で実施(8/1～15)
- 平和写真展 (8/5～18)
・市役所1階ギャラリーコーナーにおいてイラク戦争・劣化ウラン弾の写真パネルの展示
- 宇治市民平和祈念集会(8/15)
- 平和ロビーコンサート(8/15)
- 「平和の鐘ー祈りー」の演奏(通年)
・平和にちなんだ曲や季節の曲を「平和の鐘ー祈りー」のカリオンで、毎正時(午前8時～午後7時)に演奏。別に、広島(8月6日)、長崎(8月9日)、沖縄(6月23日)の日を設け、当日にそれぞれの市にちなんだ曲を演奏。
- 広報紙により、広島・長崎原爆投下の日と、終戦記念日に市民に黙祷を呼びかける。それぞれの日には「平和の鐘ー祈りー」を吹鳴。また、市内の寺院等にも同日に鐘等の吹鳴を呼びかけている。また、沖縄慰霊の日にも「平和の鐘ー祈りー」を吹鳴。